

日刊 磐城時報

編輯 石城郡平町植木屋十四
印刷 石城郡平町植木屋十四
社址 石城郡平町植木屋十四
電話 一四三三
代金 一月一元二角 三月三元五角 半年六元 一年十二元
廣告料 一行十四字 五日五拾錢
日刊 (日曜、祭日) 休刊

本社主催野球大會 組合せ決定す

早くも人氣を集めてゐる 磐中對安中戦

本社主催にかゝる第二回縣下中等學校野球大會は本年度の参加校が磐城、双葉、相馬、田村、安積の五中學となつたため大會決定日の六月二十二日(日曜日)では決勝戦まで行ふ事が困難となつたので、第一回戦を二十一日(土曜日)に繰上げて行ひ、第二回戦以後を二十二日(日曜日)に行ふ事になつた。之が組合せ抽籤を十日午後五時から本社代表者佐藤政平、大會副會長阿部政右衛門、両氏外各中學野球部代表者が會合、厳正に行つた結果組合せ並に試合開始時間を左の如く決定した。

第一回戦は相馬對双葉であるが双葉中學は昨年の大會に参加しなかつたけれども昨年来日夜猛烈な練習を續け今日に於ては他校に比べ決して劣らぬ域に到達したといふから當日は豫期以上の活躍をなし地方ファンを熱狂せしむべく一方相馬中學は過般來早大黒木、島田兩選手を聘して整然たる練習をなしてゐるといふから技術上達の程も窺ひ知られる。

第二回目の磐城中學對安積中學は前日に於て二回の試合を行ひ、大接戦の結果磐中の勝利に歸した歴史あり互に一蹴すべく意氣物凄いのがあるから大會隨一の興味ある試合を演ずるであらうと察せられてゐる。

明日から入梅

大した降雨を見ぬだらう 小名濱測候所發表

晴天続きで夏氣分の天候も明日からの入梅にまた永雨が見られぬと、そしてその後はからりと晴れた日和で外入梅期は平穩に過ぎ去るでせうと小名濱測候所が發表する。

當地方の入梅入りは二十日前後の豫想をしてゐる、目下の所支那大陸に低氣壓が現はれさうにも見受られぬ所から推さう大した時雨もなく過ぎる模様で、せいと降つたとした。

植田の家屋 賃貸價格

植田の家屋賃貸價格總額は十一萬七千三百三十二圓で棟数は千九百九十九、構造千二百、坪數三萬二千六百八十一坪で、これを賣買價格に換算すれば六十四萬九千三百四十九圓となる。尙第二次委員は政友派渡邊重三郎の發議で、町長の指名推薦といふ事になり、満場一致助役小野忠兵衛氏を選んだ。

四倉繭市場 二日目の取引

石城郡四倉町繭市場二日目の取引左の如し
出廻り白繭二千二百九十五貫、黃繭二百三十貫、白繭最高四十九圓八十錢、最低二十三圓、平均三十三圓五十錢、黃繭最高三十五圓八十錢、最低三十三圓、平均三十三圓三十錢。

好問行自動車 列車と側面衝突 運轉手は助る

第二次委員に 大平氏當選

平町古鍛冶町好問軌道株式會社乗合自動車運轉手黒澤秋雄(三三)が操縦し十日午後十時十五分頃平町古鍛冶町鐵道踏切を横切る際、平町午後十時二十分着警越東線下り列車に側面に衝突され自動車は約十間程引摺られ車体を滅茶々に破損したが、運轉手黒澤は奇蹟的に全治一週間の微傷を負ふたのみであつた。

庫裡上棟式

新町の如來寺の庫裡新築は住職致を以て推薦した。當日も相當小松學俊氏檀家總代鈴木宇八氏異論もあつたが何事も平和の見吉田彌十郎氏、佐藤八之助氏其地から協調すべきである。午後他諸氏談つて建築工事中の處十四時過ぎに至り漸く無事解決をみるに至つた。

平町の滞納税整理

けふもまた公賣 不景氣愈々深刻なため 納税觀念も薄らぐ

平町では各税毎に多額の滞納が騒ぎ出し、競賣の際に時刻まあり何回となく差押へ處分し整でに續々と押かけ納付する、その理を行つてゐるが、何とせよの反面には競賣を物件の價格と納入出来ないものがある。税額との差引勘定をなし損益を係員もほろりと困り切つてゐる見越してその儘放任して置くも、今十一日午前十時から同役の大多數に上り納税義務の觀場において四年度前期特別戸數念などは一向にお構ひない程不割、國縣稅附加稅等の徵稅滞納景氣は深刻にこの地方に瀰満し者二百五十名、その金額三千八百八十八圓である。

磐城丸調査報告

縣水産試驗場磐城丸は鯉魚場調査のため去月二十八日小名濱港滞納者もいざ競賣となると忽に出帆五日午後七時歸港したが、

今回の調査に現れたところによ、繭植馬鹿安の折柄とて生産家のると昨今の漁事は極めて不振の懸念も考慮し全部現金取引をな状態で漁場區々、特に好漁場とし、全然延べ取引をしない事目するものないが稍幾分見込のとした、尙ほ植田市場は今十一あるのは八丈ヶ島、青ヶ島、ハ日から開場の管である。

謹告

本社主催第二回中等學校野球大會組合せ左の如く決定致し候

第一回戦

六月二十一日午後二時より
相馬中學 對 双葉中學

第二回戦

六月二十二日午前八時半より
磐城中學 對 安積中學

同 午前十一時より
田村中學 對 第一回戦勝者

同 午後二時より
決勝戦

會場 全部磐城中等學校

主催 磐城時報社

勿來、植田 繭市場開始

勿來繭市場は植田繭市場と合併の當座預金小切手を振り出したる等であるが諸準備の都合上行つたところ福田は磐城銀行に當分單獨取引を行ふ事となつた預金なく支拂ひを拒絶されたので準備中のごとく、明で兩名は平岩に福田を相手取り十二日より開場する事となつた詐欺の告訴をなした。

